

# 特別展 宮本輝

人間のあたたかさ、生きる勇気と。

困難や苦悩を抱えながらも前進する人々の姿を描き、読者の心に深い感動や喜び、希望を呼び起こしてきた作家・宮本輝。

1977年(昭和52年)に「泥の河」でデビューすると、その翌年には「螢川」で芥川賞を受賞。今日に至るまでの約40年間にわたる作家活動の中で、『優駿』を始め、『錦繡』『青が散る』『星々の悲しみ』、今年ついに完結した大河小説「流転の海」シリーズなど、優れた作品を次々と世に送り出してきました。

本展では、人とは何か、生きるとは何か、生きる上で大切なことは何か、という作品の根底に流れる人生への深い洞察について、現代の優れたストーリーテラーの宮本輝が生み出してきた豊饒な作品世界をひもときながら、その魅力を原稿や愛用品など関連資料で紹介します。



「螢川」原稿(日本近代文学館蔵)



芥川龍之介賞正賞 懐中時計  
(追手門学院大学附属図書館蔵  
宮本輝ミュージアム寄託)

## 宮本輝プロフィール

みやもと てる

1947年(昭和22年)、兵庫県神戸市に生まれる。追手門学院大学文学部卒業。広告代理店勤務を経て作家となる。1977年(昭和52年)、「泥の河」で太宰治賞を、1978年(昭和53年)には「螢川」で芥川龍之介賞を受賞。その後、「優駿」で吉川英治文学賞、「約束の冬」で芸術選奨文部科学大臣賞、「骸骨ピルの庭」で司馬遼太郎賞を受賞。2010年(平成22年)には紫綬褒章を受章する。  
ほかに「道頓堀川」「ドナウの旅人」「曇星物語」「水のかたち」「田園発 港行き自転車」、エッセイ集「二十歳の火影」「命の器」「本をつんだ小舟」「生きものたちの部屋」「いのちの姿」、紀行「ひとたびはボブラに臥す」等著書多数。

## 対談「宮本輝×中瀬ゆかり」

宮本輝氏と、新潮社出版部長で宮本輝作品の読者でもある中瀬ゆかり氏による対談。

- 日時/11月17日(土) 午後1時30分～3時(開場:12時30分) ●定員/250人
- 申込方法/往復ハガキに、郵便番号、住所、氏名、電話番号と、「宮本輝展対談参加希望」を明記して姫路文学館まで。1人1枚。※車椅子席や手話通訳などのご希望があれば、申し込み時にお知らせください。
- 締切/10月31日(水) 必着(応募者多数の場合は抽選)

## 展示解説会

- 日時/11月23日(金・祝) 午後1時30分～2時30分(開場:午後1時)
- 講師/当館学芸員
- 定員/150人(当日先着順) ※本展観覧券(使用済み半券も可)が必要

## 映画鑑賞会「道頓堀川」(宮本輝原作)

配給/松竹(1982年) 監督/深作欣二 脚本/野上龍雄、深作欣二  
出演/松坂慶子、真田広之、佐藤浩市

- 日時/12月8日(土) 午後1時30分～3時40分(開場:1時)
- 定員/先着100人(当日先着順) ※本展観覧券(使用済み半券も可)が必要

## 姫路文学館コンサート

- 日時/11月25日(日) 午後2時～3時30分(開場1時30分)
- 出演/しの笛風の音 ●会場/望景亭和室
- 日時/12月2日(日) 午後2時～2時40分(開場1時30分)
- 出演/西沖直美(ピアノ演奏) ●会場/講堂
- 日時/12月15日(土) 午後3時～4時(開場2時30分)
- 出演/賢明女子学院ハンドベル部 ●会場/講堂

## 記念イベント

※いずれも、会場は姫路文学館 講堂(北館3階)



**姫路文学館**  
HIMEJI CITY MUSEUM OF LITERATURE  
〒670-0021 姫路市山野井町84番地  
TEL.079-293-8228  
http://www.himejibungakukan.jp/

他館イベントのご案内

美術館庭園アートプロジェクト「松井紫朗のセンス・オブ・ワンダー」開催中 ●日時/12月2日(日)まで

●姫路市立美術館 ☎079-222-2288

新春特別展示「宮澤由雄生誕150年・姫路押絵」 ●日時/平成31年(2019年)1月6日(日)～2月24日(日)

姫路市立美術館 ☎079-267-0301

アクセス ●JR・山陽電鉄姫路駅より神姫バス9・10・17・18番のりばで乗車6分、「市之橋文学館前」下車、北へ徒歩4分。城周辺観光ループバスで乗車10分、「清水橋(文学館前)」下車、西へ徒歩3分。  
●山陽自動車道姫路東IC.あるいは姫路西IC.下車約20分。●姫路バイパス中地ランプ下車約15分。



QRを読み込んで簡単アクセス!!  
姫路文学館公式アカウントで情報やつぶやきを発信!